

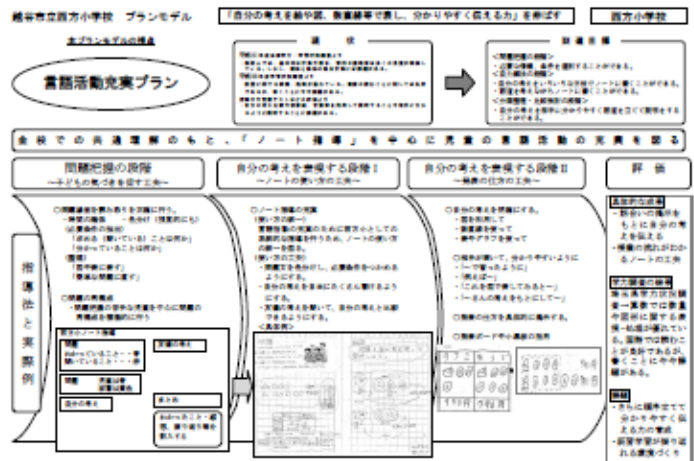
「言語活動充実プラン」を活用した指導の充実

【越谷市教育委員会】

- 1 小学校、全学年、算数
- 2 ねらい 算数科において言語活動の充実を通して、児童の思考力・判断力・表現力を育成する。

3 取組内容

「言語活動充実プラン」を作成し、児童の「自分の考えを絵や図、数直線等で表し、分かりやすく伝える力」を伸ばすことをねらいとした。まず、児童の学力の現状に基づき、到達目標設定するとともに、ノート指導を中心に言語活動の充実を図っている。さらに、指導段階ごとに具体的な指導の手だてを設定し、児童の支援を行っている。



- ① 問題把握の段階では、「求める(聞いている)こと」分かっていること」を明確にして問題の読み取りを正確に行う工夫をしている。問題把握に時間がかかる児童には、問題の再構成」を行う支援を行った。



- ② 自分の考えを表現する段階Iにおいては、学習ルールとして、ノートの使い方を全校で統一を図っていることにより、学年や、指導者が代わっても同じようにノートを使うことができ、自分の考えを思う存分各ことができる。



③ 自分の考えを表現する段階Ⅱにおいては、学習過程の「話し合う」場面で、ペア学習やグループ学習を取り入れるなど、発表の仕方を工夫して伝え合う力を育成している。図、数直線、表やグラフなどを使って自分の考えを明確にし、相手が聞いて分かりやすいように発表させている。

一人一枚のホワイトボードを使いながら、すべての児童に発表の機会を設け、思考力や表現力の育成を図っている。



4 成果と課題

児童の思考力・判断力・表現力を育成するために必要な「言語活動の充実」を学習過程に明確に位置付け、指導法の工夫改善に取り組み質の高い授業を展開している。

考えたことを自分の言葉で伝え、友だちの考えと比較したり、友だちの考えのよいところに気づき、自分の考えをさらに深めている。

言語活動充実プランに明記されているように、子どもたちが自分の考えを伝え合い、学び合うことを通して確かな学力を身に付けている。

順序立てて分かりやすく伝える力をさらに高めていくことが今後の課題である。